

ネット上の著作権問題

25C000 成徳太郎

インターネットの普及により、私たちは多くの情報や作品を簡単に閲覧・利用できるようになった。しかし、その一方で著作権侵害が問題となっている。実際、SNS やブログなどで、他人が撮影・作成した画像や文章を出典や権利者の許可なく転載するケースが少なくない（文化庁, 2022）。

著作権とは、創作的な著作物を守り、著作者の権利を保障する制度である。著作物を無断で利用することは法律に違反し、損害賠償や刑事罰の対象となる可能性がある（島並他, 2024）。一方で、著作権法には「引用」の規定があり、一定の条件下では他者の著作物を利用できるとされている。日本心理学会の引用基準においても、出典を明記し、引用部分を明確に区別することが求められている（日本心理学会, 2022）。

著作権問題を回避するためには、安易なコピーや転載を避け、必要な場合は必ず出典を明記することが大切である。また、引用に際しては著作権法およびガイドラインに沿った適切な手順を学び、守る必要があると考える。

参考文献

- 島並 良・上野 達弘・横山 久芳（2024）. 著作権法入門〔第4版〕. 有斐閣.
- 日本心理学会（2022）. 執筆・投稿の手びき 2022年版 日本心理学会 Retrieved October 25, 2022, from <https://psych.or.jp/manual/>
- 文化庁（発行年不明）. 著作権 Q&A.
https://saiteiseido.bunka.go.jp/chosakuken_qa/ （2025年7月7日閲覧）